

峰山高校野球部通信

第二号二〇二四年三月

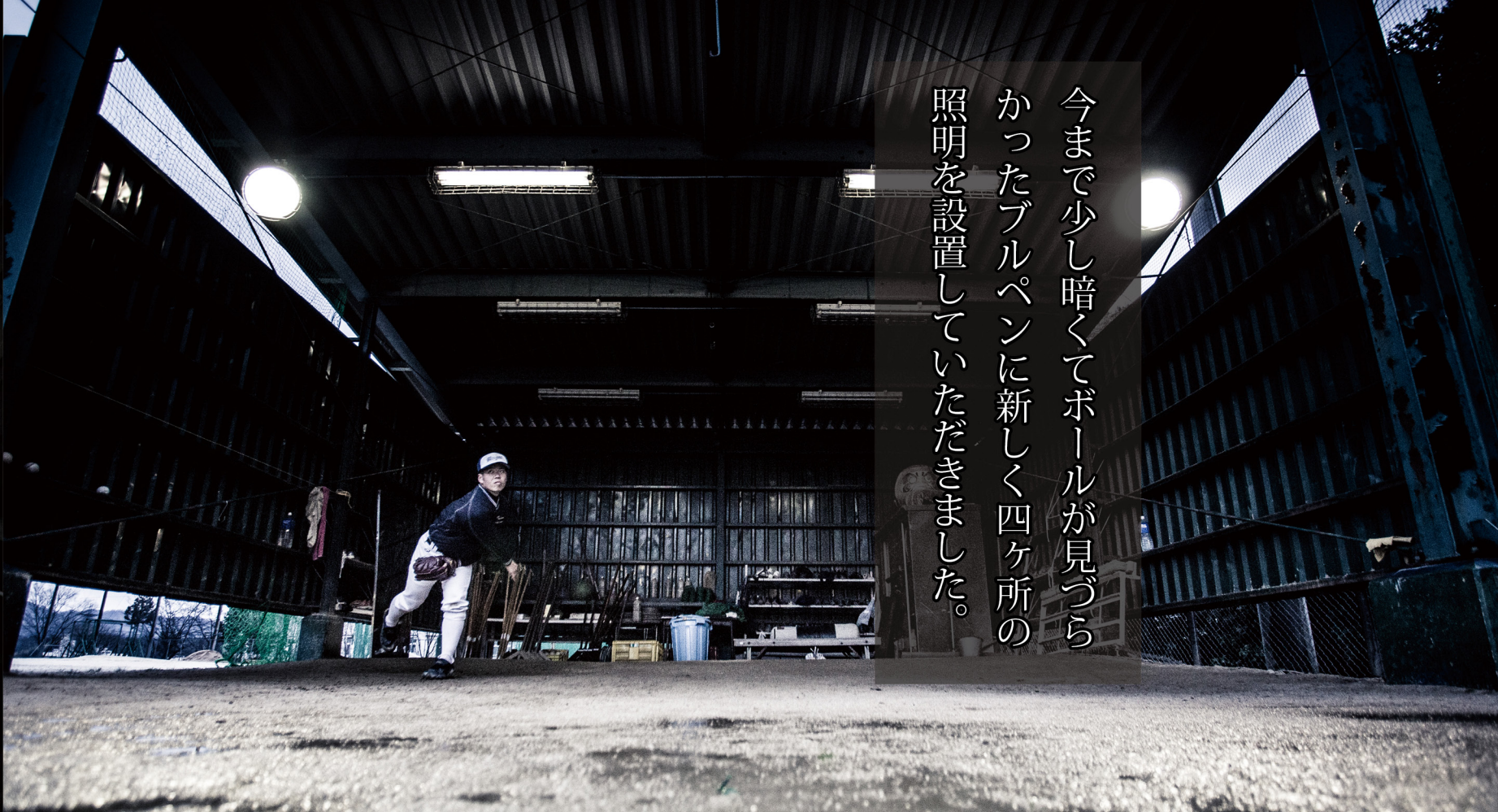
三月がスタートし、練習試合も出来るようになった。いよいよシーズンがスタートしました。まずは、夏のシード権を得ることが出来るよう春季大会の一次戦突破に向け、頑張ります。今まで同様、峰山高校野球部の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

シンズン 到来

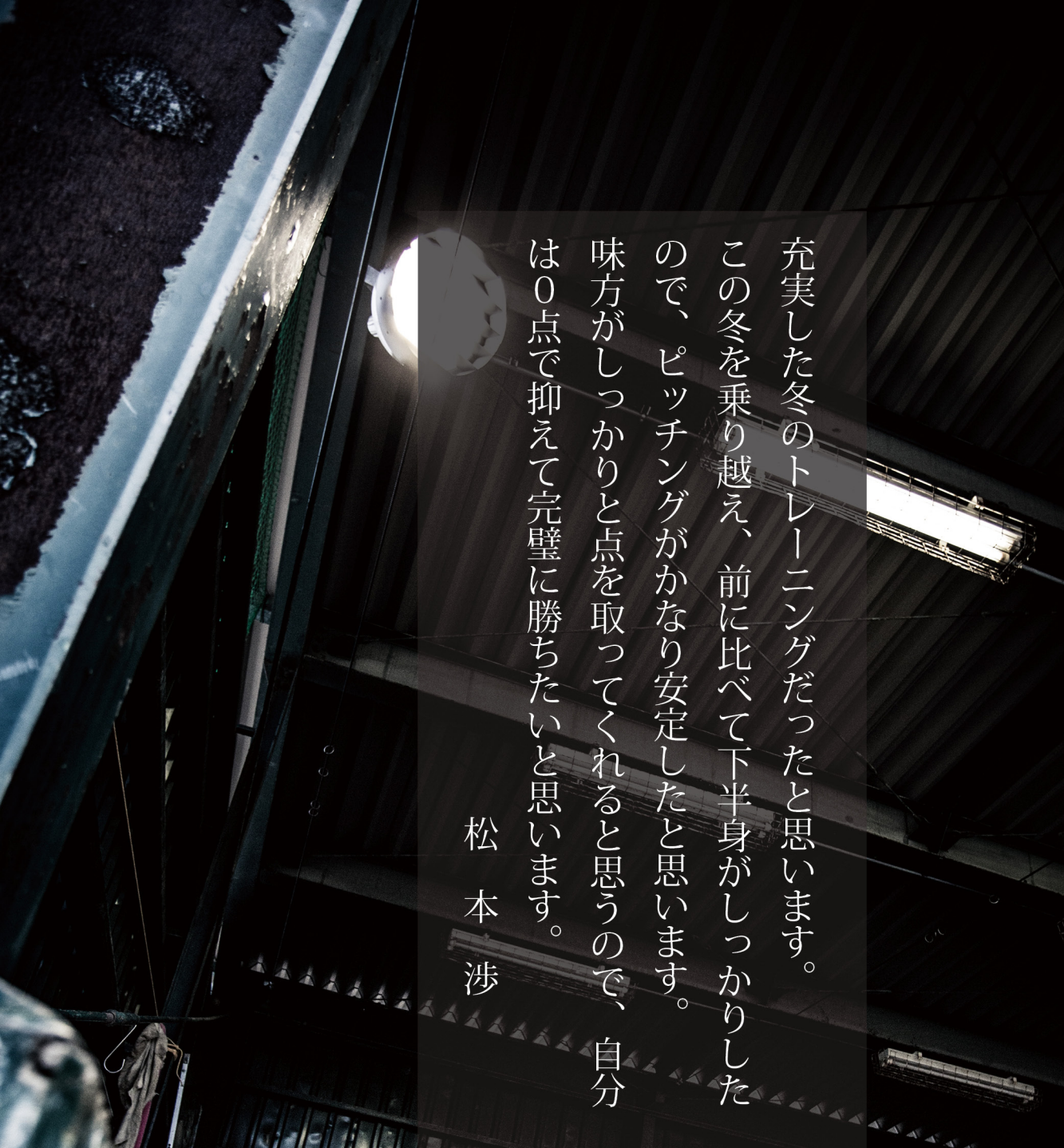
新チーム発足当初は思うようなプレーができず、練習試合でも勝てない日々が続きました。それでも目標に向かってチームが一丸となった結果、秋季大会ではベスト8という結果を残すことが出来ました。公式戦を戦うたびにチーム全体が目に見えて成長していきました。しかしながら目標としている甲子園出場にはまだまだ高い壁があります。秋季大会では上位3チームすべてが強豪私学であり、その壁を乗り越えなければ夏の甲子園には届きません。選手たちはその壁を目標に、体作りや体力トレーニングに必死に取り組んでいます。また食事の成果も徐々に出てきており、バッティング練習でも鋭く力強い打球が飛ぶようになって来ています。

秋季大会準々決勝で流した悔し涙をバネに、この冬はしっかりと体力作りに励むとともに、野球をさらに深く追求することで考える力を身につけて、春季大会では必ず京都大会のシード権を取りたいと思います。最後になりましたが、後援会、OB会、保護者の皆様方にはいつも厚い御支援と御声援をいただき、本当にありがとうございます。食事面も含めまして、今後も練習試合や遠征などご負担をおかけすることになりますが、御理解と御協力をお願いいたします。

峰山高校野球部監督 飯高 英世

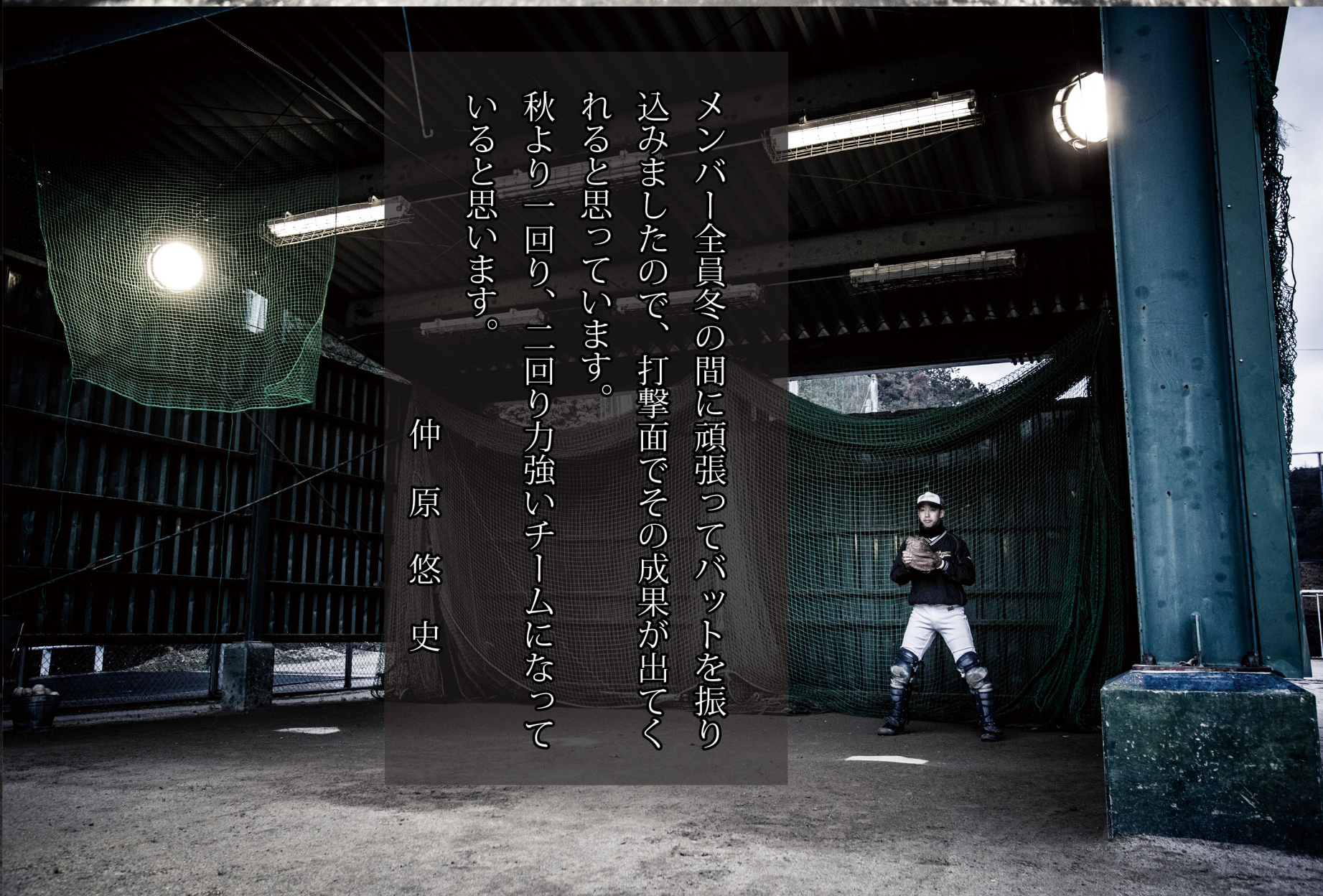


今まで少し暗くてボールが見づら
かったブルペンに新しく四ヶ所の
照明を設置していただきました。



充実した冬のトレーニングだったと思います。
この冬を乗り越え、前に比べて下半身がしっかりした
ので、ピッチングがかなり安定したと思います。
味方がしっかりと点を取ってくれると思うので、自分
は0点で抑えて完璧に勝ちたいと思います。

松本 渉



メンバー全員冬の間頑張ってバットを振り
込みましたので、打撃面でその成果が出てく
れると思っています。
秋より一回り、二回り力強いチームになって
いると思います。

仲原 悠史